

読み聞かせにおすすめの絵本リスト(低学年向け)

	題名	著者名	出版社	内容
	からすのパンやさん	かこさとし 絵・文	偕成社	からすのまちのパン屋さんでは、お父さんお母さん、4羽の子ガラスが、楽しい形のパンをどっさり焼きました。でんわパンにほんパン、やかんパン…。
	すっぽんぽんのすけ	もとしいづみ 作 荒井良二 絵	鈴木出版	お風呂上がりは裸が一番! 「はやくパンツをはきなさい」というおかあさんをよそに外に出ちゃったぼくは、ヒーロー「すっぽんぽんのすけ」に!
	おおきなかぶ	A.トルストイ 再話 内田莉紗子 訳 佐藤忠良 画	福音館書店	おじいさんがうえたかぶは、あまりに大きくなりすぎて抜けません。「うんとこしょ どっこいしょ」みんなで力を合わせます。
	ふしぎな キャンディーやさん	みやにしたつや 作・絵	金の星社	お店のおじさんに「キャンディーをなめると不思議ことがおこるんだよ」と言われたブタクん。キャンディーをなめてみると…。
	しゅくだい	宗正美子 原案 いもとようこ 文・絵	岩崎書店	「きょうのしゅくだいは“だっこ”です。おうちのひとにだっこしてもらってください。」。もぐらのもぐくんが、夕ご飯のあとにしゅくだいのことを言うと…。
	まくらのせんにん そのあなたの巻	かがくいひろし 著	佼成出版社	まくらのせんにんが散歩していると、地面から抜けなくなっている動物たちと出会います。このピンチを助けることができるのは「そのあなた」しかない!?
	ぶたのたね	佐々木マキ 作・絵	絵本館	ぶたよりも足が遅いおおかみ。何とかぶたを食べたいと、「ぶたのたね」をてにいれたおおかみは…。
	三びきのやぎの がらがらどん	マーシャ・ブラウン 絵 せたていじ 訳	福音館書店	三びきの「がらがらどん」が、怪物トルルのいる谷川の橋を渡ります。「あとからもっと大きいやぎが来るよ」というやぎの言葉に期待をかけたトルルですが…。

	もったいないばあさん	真珠まりこ 作・絵	講談社	もったいないことをしていると、やってくるもったいないばあさん。お茶碗に残したごはん粒だけでなく、ぼくの顔についているごはん粒もペロリ。
	どろぼうがっこう	かこさとし 絵・文	偕成社	村はずれに、どろぼうがっこうがありました。「あしたまでになにかどろぼうをやってこい」と先生が宿題を出しても、ちゃんとしたどろぼうはできません。
	めっきらもっきら どおんどん	長谷川摂子 作画	福音館書店	遊ぶ友だちが誰もいなくて、ひとりぼっちで遊ぶかた。滅茶苦茶にうたを歌うと穴から声が聞こえ、のぞきこむと穴に吸い込まれ落ちてしまい…。
	やまのぼのにしき	まつたにみよこ 文 せがわやすお 絵	ポプラ社	「ちょうふくやまのやまのぼがこどもうんだで、もちついてこよう。」ある夜、村の空に大きな声が響きわたった。そこで村じゅう集まって、大さわぎで餅をついたが…。
	すてきな三にんぐみ	トミー=アンゲラー 作 いまえよしも 訳	偕成社	黒いマントに黒いぼうしの、こわい泥棒三人組のおはなし。三人組は次々と馬車を襲い、奪った財宝をかくれがにため込みますが…。
	けんかのきもち	柴田愛子 文 伊藤秀男 絵	ポプラ社	ぼくはこうたとけんかした。パンチされた。たおされた。くやしかった。なんでだよ！なんでだよ！お母さんにくっついて泣いたけれど、“けんかのきもち”はなかなかおさまらず…。
	いじわるな ないしょオバケ	ティエリー・ロプレヒト 作 フィリップ・ホーセンス 絵 野坂悦子 訳	文溪堂	うっかりママのたいせつなしんじゅのくびかざりをこわしてしまったサラ。ほんとうのことがいえず、ないしょにしていたら…くちからオバケがとびだしちゃった！
	だじゃれ 日本(にっぽん)一周	長谷川義史 作	理論社	47都道府県をだじゃれで笑い飛ばそう！「すべてころんで大分県」のようなズッコケ笑いが、満載！！
	となりのせきの ますだくん	武田美穂 作・絵	ポプラ社	隣の席のますだくんは、ちょっと乱暴な男の子。ますだくとけんかした翌朝、重い足取りで学校に行くと、校門のところですだくんが待っていて…。

	にゃーご	宮西達也 作・絵	鈴木出版	にゃーご! 3匹の子ねずみの前に突然あらわれた大きな猫。ところが、猫というものを知らない子ねずみたちは…。
	シニガミさん	宮西達也 作・絵	えほんの杜	腹ペコオオカミは、ある日、森で病気のコブタを見つけます。すぐに食べようとしたけれど…。命の尊さ、人との関わりの大切さを伝える作品。
	ぴっけやまのおならくらべ	かさいまり 文 村上康成 絵	ひさかたチャイルド	くらべっこが大好きな山の動物が集まって、今日は「おならくらべ」。それぞれ一生懸命に個性的なおならを披露。優勝者はだれでしょう?
	キャベツくん	長新太 文・絵	文研出版	はらぺこのブタヤマさんが、道で、キャベツくんとばったり。キャベツくんを食べようとすると、「ぼくをたべるとキャベツになるよ!」
	たろうとつばき	渡辺有一 作・絵	ポプラ社	一年生のたろうは、入院したおかあさんのおみまいのため、伊豆利島から東京までの長いみちのりを、たったひとりで旅します。
	おまえうまそうだな	宮西達也 作・絵	ポプラ社	アンキロサウルスのあかちゃんのまえに、ティラノサウルスがあらわれて、「おまえ、うまそうだな!」。けれどそれがかんちがいをうみ…。
	だんごどっこいしょ	大川悦生 作 長谷川知子 絵	ポプラ社	町のおばさんの家でだんごをごちそうになったぐつは、はやく家へ帰って、ばあちゃんにだんごをつくってもらおうと思いましたが…。
	ダンゴムシみつけたよ	皆越ようせい 写真・文	ポプラ社	子どもたちが大好きなダンゴムシの生態を迫力いっぱいの写真で紹介する科学絵本。ふ化や脱皮の瞬間など、おどろきの連続です。
	きょだいなきょだいな	長谷川摂子 作 降矢なな 絵	福音館書店	広い野原の真ん中に、巨大なピアノが一台。「あったとさ、あったとさ ひろいのっばら どまんなか きょだいなピアノが あったとさ・・・」

	ざぼんじいさんの かきのき	すとうあさえ 文 織茂恭子 絵	岩崎書店	ざぼんじいさんは、あまい柿をいつもひとりじめ。まあばあさんにわけてくれるのは、葉っぱや枝ばかり。でも、まあばあさんは、大よろこびです。それは…。
	せんたくかあちゃん	さとうわきこ 作・絵	福音館書店	“せんたくの、だいのだいのだいすきな” たくましいかあちゃんと、ユーモラスなかみなりとの間に繰り広げられる、けたはずれに楽しくて元気のいい物語です。
	やさいのおなか	きうちかつ 作・絵	福音館書店	「これ なあに？」野菜を真ん中ですっぱり切った断面が、影絵のように白黒でてきます。ページを開くと、色のついた絵があらわれ…。
	げんきなマドレーヌ	ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作・画 瀬田貞二 訳	福音館書店	パリの寄宿学校に住む12人の女の子たちの中でマドレーヌが一番の元気者。でもある晩、そのマドレーヌが泣きわめきはじめてのです。
	うみのおまつり どどんとせ	さとうわきこ 作・絵	福音館書店	「海岸におおくじらが寝ていてみんな困っています。くじらを起こすいい方法を教えてください」。そんな手紙を受け取ったばばあちゃんたちは…。
	くいしんぼうの はなこさん	いしいももこ 文 なかたにちよこ 絵	福音館書店	わがままな子うしのはなこは、ごちそうをひとりじめしたためおなかアドバルーンのようにふくらんでしまいました！のどかな牧場でのお話です。
	おじさんのかさ	佐野洋子 作・絵	講談社	黒くて細かい立派な傘を、とても大切にしているおじさん。おじさんは、雨が降っても傘を差しません。だって、傘がぬれてしまうから。でもある日、傘を開いてみると…。
	こんもりくん	山西ゲンイチ 作	偕成社	髪の毛を切るのがいやなこんもりくん。そのもじゃもじゃあたまのなかにはめくるめく楽しい世界がかくっていました！
	地球をほる	川端誠 作	BL出版	旅行に行くことにしたつよしとけんた。地面に穴をほって、地球の裏側にいってみよう。めざすはアメリカ！ ほって、ほって、着いたところは…。